

経営学研究科の学位論文審査基準

【修士論文】

(1) 論文テーマの妥当性（学問的意義・適切性）

論文テーマが経営学研究として位置づけられるとともに、論文の内容を的確に表現していること。

(2) 問題の適切性

経営学的な意義を意識した研究課題が設定されていること。

(3) 論理の一貫性

論理的に一貫した考察がされていること。

(4) 研究方法

研究課題、研究対象にふさわしい研究の方法がとられていること。研究の方法が学問的批判に耐えられる適切なものであること。

(5) 体裁

学術論文にふさわしい形式（引用、参考文献の提示、等）がされていること。論文の字数(本文)については、40,000 字前後（課題研究にあっては、24,000 字前後）とする。

(6) 先行研究との関連性（参考文献の適切性）

当該分野の代表的な先行研究をサーベイした上で、適切に課題設定されていること。

(7) 独創性（新規性）

考察の結果から得られた知見が、何らかの点で独創性（新規性）を有していること。

(8) 専門性

経営学の現代的展開を踏まえた高度な知識にもとづいた考察がなされていること。

(9) 広汎性

経営学の広範な知識を十分身につけた上で考察を行い、考察の結果も経営学の全般的な知識にとって有意義であること。

(10) 資質

広い視野を備える精深な学識とその専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を有することを立証するに足るものであること。

(11) その他

2年間広い視野に立って専攻分野の研究をした成果に相当するものであること。

経営学研究科の学位論文審査基準

【博士論文】

(1) 論文テーマの妥当性（学問的意義・適切性）

論文テーマが経営学研究の現代的課題として位置づけられるとともに、論文の内容を的確に表現していること。

(2) 問題の適切性

これまでの経営学研究を渉猟し、経営学にとって現代的な意義を明確にした研究課題が設定されていること。

(3) 論理の一貫性

明確な方法論にもとづいた論理的に一貫した考察がされていること。

(4) 研究方法

研究課題、研究対象にふさわしい研究の方法がとられていること。研究の方法が学問的批判に耐えられる適切なものであること。

(5) 体裁

学術論文にふさわしい形式（引用、参考文献の提示、等）がされていること。字数は、原則として、日本語では公刊を前提として論文 3 本以上の分量であること。

(6) 先行研究との関連性（参考文献の適切性）

当該分野の代表的な先行研究をサーベイした上で、適切に課題設定されていること。

(7) 独創性（新規性）

考察の結果から得られた知見が、経営学研究の現代的展開にとって独創的（新規性）を有していること。

(8) 専門性

経営学の現代的展開を踏まえた高度な知識にもとづいた考察がなされていること。考察の結果から得られた知見が、当該分野の発展にとって貢献するものであること。

(9) 広汎性

経営学の広範な知識を十分身につけた上で考察を行い、考察の結果も経営学の全般的な知識にとって有意義であること。

(10) 資質

広い視野を備える精深な学識とその専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を有することを立証するに足るものであること。

(11) その他

3 年間広い視野に立って専攻分野の研究をした成果に相当するものであること。